

モノを蒐めるまなざし -美濃加茂市・早稲田大学所蔵コレクション-

- 会期 12月10日(土) ~ 2017年 1月 29日(日)
- 会場 企画展示室
- 観覧料 一般...200円(100円)
かるちすとくらぶ会員及び高校生以下...無料
()内は20名以上の団体料金



アイヌ民族資料/白布切抜文衣(カバラミフ)
早稲田大学會津八一記念博物館 写真提供

早稲田大学にある會津八一(あいず やいち)記念博物館には、會津八一をはじめとする、東洋美術史研究等に携わった研究者の蒐集品として、様々な分野の資料・作品が収蔵されています。美濃加茂市でも戦後、この地域の地道な調査や記録、資料収集を続けた研究者がいました。本展では、そのような研究や資料蓄積の成果、学術研究に邁進した「蒐集者」の姿を紹介します。

【美濃加茂市・早稲田大学文化交流事業】

ミュージアムのうらがわ



作家 篠原芳子さん
滞在制作中!



わらで屋根をかぶせています

今年の夏、森の中に土壁の「ポスト」がひょっこりと立ちました。これは来年2月に当館で展覧会を開催する作家・篠原芳子さんの作品です。篠原さんは館のアトリエ棟に宿泊滞在しながら、2月の展覧会に向けて作品を作ります。

ここ数年の篠原さんは、美濃和紙と顔料を使って線やかたちを描いた、やわらかい風合いの絵を作っています。ところが、今回初めて着手したのがこの「ポスト」でした。なぜなのでしょう?

篠原さんは「文通、通信」という意味を持つ「correspondence」という言葉を主題に制作してきました。今回のポストは、森との文通、森の言葉を受け取る容れ物の象徴として考えたものなのでしょう。

制作中、篠原さんはよく「森が教えてくれる」と話します。例えば、ポストの土壁に混ぜる素材を探していた雨上がりの日、アトリエ棟横の石畳に生えるわかめのような藻に気付いたそうです。森から、これを使えばいいと告げられたように感じたそうです。

そこで、土にその藻を混ぜました。篠原さんは森が与えてくれるイメージや素材を自分に届けられた手紙のように大切に受け止めて、作品として発信しようとしているのです。

展覧会名は「静かなる森の要請」です。展示室では紙の絵を中心に展示します。篠原さんは絵や立体だけではなく言葉でも表現する作家です。会期前、篠原さんが森から着想を得て書いた言葉の作品も館内に展示します。



土壁用の土づくり

岐阜県博物館協会 Gifu Museum Association

特集展示「道を行く」



東海道五十三次漫画絵巻より 岡本一平 三島

- 会期 12月10日(土) ~ 2017年 1月 29日(日)
- 会場 美術工芸展示室

観覧無料

岐阜県博物館協会創立50周年記念事業「街道/ネットワーク」の一事業として行います。「道」をテーマにした収蔵美術品を展示します

MUSEUM NEWS vol.83

みのかも文化の森 2016年 9/15発行



森の観察日記 32

マルバルコウ

8月から10月にかけて咲く、つる性の一年草。花の朱赤色と中心部分の黄色のコントラストが、目をひきます。また上から見たときの直径1.5から2cmの五角形の花冠も魅力的です。市内でも各地でよく見ることができます。



BUNKANOMORI EXHIBITION!

第41回 岐阜県移動美術館

ひとをかくひと

- 会期 2016.9.17 sat - 10.23 sun

会期中の休館日 9月20日、26日 10月3日、11日、17日

- 会場 企画展示室・美術工芸展示室

- 観覧料 一般...300円(200円)
かるちすとくらぶ会員及び高校生以下...無料
()内は20名以上の団体料金

ミュージアムトーク 当館学芸員が展示の解説をおこないます

参加料:企画展観覧料 9月25日(日) 10:00~11:00
10月8日(土) 13:30~14:30



岸田劉生「自画像」1914年 油彩、画布 岐阜県美術館蔵

1982年の開館以来、県民の文化芸術活動の拠点として親しまれ、この地域を支えた近現代の美術家研究を先駆的に行ってきた岐阜県美術館。4000点を超える岐阜県美術館の収蔵美術品の中から、近現代美術コレクションの人物画に焦点を当てた展覧会を開催します。

明治時代、油絵を志した者たちは西欧の絵画技法に触れ、日本の画題を探し描くことに腐心しました。また日本画家は、日本画の画材を用いながら西洋風の描写を採り入れるような新しい表現

に挑んでいきます。時代を下るにつれ、日本画と洋画という技法の枠を超えた自由な展開も生まれてきます。

そうした時代の流れの中で描かれてきた人物画には、作家自身の「ひと」に対する鋭い洞察の跡がのこされています。そしてまた、移りゆく時代の中で新しい技法や画題への探求に心を傾けた、作家たちの意志が見えてきます。本展では絵画に描かれた「ひと」と、誰かを描こうとした「ひと」たちのまなざしと意を探ります。

主催:岐阜県美術館・美濃加茂市民ミュージアム

forum & event

ミュージアムフォーラム
「ひとをかくとき
-岐阜県美術館の
所蔵作品を中心に-」
講師:土屋禮一(日本画家)

●日時 ●会場 ●内容

9月24日(土)
14:00~15:30

研修室

本展では岐阜県養老郡出身の日本画家・土屋禮一(1946年~)の《Y子》を展示します。画家は近年、主に神秘的な大地や自然の風景を発表していますが、1960年代後半から70年代にかけて、また折に触れて人物画を制作してきました。そこで、岐阜県美術館で所蔵する人物画を中心として、自身の制作についてお話しいただきます。なお岐阜県美術館で開催する「特集展示 土屋輝雄・禮一展」(8月30日(火)~10月16日(日))には、自画像が展示されます。
聴講料:無料 定員:42名 申し込み:当日13:30より受付

みのかも文化の森 美濃加茂市民ミュージアム MINOKAMO CITY MUSEUM

〒505-0004 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上峰屋3299-1
TEL.0574-28-1110 FAX.0574-28-1104
http://www.forest.minokamo.gifu.jp/

ご利用のご案内

開館時間 9:00~17:00
(ただし、施設の貸出し利用は8:30~22:00まで)
休館日 月曜日(ただし、祝日の場合は開館し、直後の平日休館)、年末年始

●9月・10月・11月・12月の休館日
9月20日、26日 10月3日、11日、17日、24日、31日
11月7日、14日、21日、28日 12月5日、12日、19日、26日、29日~1月3日

●交通
鉄 道 JR名古屋駅より美濃太田駅まで東海道本線・高山本線経由
特急「ひだ」で約40分、駅北口より徒歩約17分
自動車/東海環状自動車道美濃加茂ICより約5分、駐車場174台

●あい愛バス
JR美濃太田駅北口より乗車、「文化の森」下車(約8分)
平日/日本昭和村・富加線(1日3往復)
土日祝日/文化の森公園線(1日7往復)
運賃/一般200円 小中学生100円 未就学児無料
時刻表/詳しくは、美濃加茂市ホームページをご覧ください



モリ
2016
クリ

文化の森の大好評シーズンイベント。クリスマスにあわせて、今年もさまざまなイベントを開催します。小さなお子様からおとなのお客様まで楽しいひとときをお過ごしください。

展示

11/16(水) ~ 12/25(日) 中山尚子が描くクリスマス

瑞浪市在住のイラストレーター中山尚子が1998年以降手がけている大手菓子メーカーのクリスマス商品のパッケージの原画を展示します。同時にそれらの菓子をミュージアムショップにて販売します。

- 会場 エントランスホール
- 観覧料 無料



12/4(日) アートな一日講座
13:00~16:00 高島純さんとクリスマスの絵本をつくろう

絵本作家の高島純さんのイラストを使いながら、自分の創作絵本を作りましょう。(当日12:30より受付)

- 会場 エントランスホール
- 参加料 500円
- 定員 20名
- 持ち物 のり、はさみ

12/18(日) 森のコンサート
14:00~15:00 Christmas Concert

ギター演奏にのせて、クリスマスソングをお届けします。

- 出演 中根かおり(ボーカル)、トム兼松(ギター)
クアドリフォリオ・ピックアップ・バンド
- 会場 エントランスホール
- 入場料 無料
- 定員 200名(全席自由)



ミュージアムレポート

ミュージアムグッズ展について

4月23日~6月5日まで開催された「おどろきとこだわりのミュージアムグッズ展」では、特設ショップを開設し全国各地の美術館・博物館のミュージアムグッズを販売しました。取り扱いなんと全63館、401点にもなりました!

たくさんのミュージアムグッズをどのようにして店頭で並べよう?どうしたらそれぞれのグッズが魅力的に見えるかな?スタッフであれこれ考え、夜遅くまでかかりましたが何とか特設ショップが完成!

<特設ショップ準備中>



<特設ショップ完成!>



文化の森にやってきた各館のミュージアムグッズたちはどれも個性豊かでこだわりが詰まっています。お客様もそんなグッズたちをみて「かわいいー!」や「リアルすぎてこわい・・・」という声(笑)、「遠方の館のグッズがここで買えるなんて嬉しい!」とこちらが嬉しくなる声をたくさんいただきました。なかには「これかわいい!買って買って!!」と猛アピールするお子さんの微笑ましい光景もありました。

ミュージアムグッズは各館のこだわりと情熱が詰まっています。今回、当館のグッズだけではなく、全国各地のグッズを多くの方に見ていただけ、そして購入する場を設けることができ本当に嬉しく思います。私たちスタッフも他館のミュージアムグッズに多くの刺激をもらいました。今後の新しいグッズ制作に生かしていきたいです。

企画展は終了しましたが、引き続き他館のグッズの取扱いは行っています。みなさんぜひみのかも文化の森ミュージアムショップにお立ち寄りください。

シェイクスピア没後400年

木立に響く逍遙 vol.7 和の「マクベス」

●日 時 10月12日(水) 18:30~20:00(18:00開場)

●会 場 エントランスホール

●入場料 500円(全席自由席)

文化の森にてチケットを販売中
電話予約可(0574-28-1110)

シェイクスピア原作、坪内逍遙訳の「マクベス」を、笛、謡、浄瑠璃、囃子の和の調べにのせ、マクベス王の心を描きます。

出演:福原徹、小早川修、都了中、福原百之助 解説:濱口久仁子

第13回 博学連携フォーラム

「博学連携」とは、博物館と学校が相互に連携・協力し子どもの教育に当たる取り組みです。博学連携フォーラムは、関係機関や一般の方々から子どもたちの学習を公開し知っていただくとともに、その後講演や意見交換会を通じて博学連携についてみなさんと共に考える機会としています。

●日 時 11月11日(金) 9:00~17:00

●会 場 公開授業 … 9:30~14:20(12:00~13:00 休憩)
フォーラム(講演と意見交換会) … 14:40~17:00

【公開授業】下米田小学校1年生 生活科「たのしいあきいっぱい」

【講演】演題「(仮)子どもの感性と成長」(当日変更になる場合があります)

講師:前田ちま子(名古屋芸術大学名誉教授)

【意見交換会】会場にて博学連携について自由に話し合います。

※どなたでもご参加いただけます。

まゆの家まつり

ボランティアのみなさんとちょっと昔の暮らしをみて、遊んで、食べてみませんか?

●日 時 10月29日(土) 10:00~15:00

●会 場 生活体験館「まゆの家」



昨年の様子

フリーマーケット

同時開催

文化の森の講座から生まれたサークルやボランティアのみなさんが、自分たちの作品の販売を行います。活動の成果をぜひご覧ください。

●時 間 10:00~15:00

●会 場 エントランスホール



昨年の様子

第20回 朗読フェスティバル

みのかも「声のドラマ」の会、朗読講座受講生の朗読と講師の公演を行います。

共催:みのかも「声のドラマ」の会・美濃加茂市

朗読講座受講生の朗読

●会 場 緑のホール

12/11(日)
10:00~

【作品】※当日の出演順は未定です

- ・「饜(xie)」浅田次郎/作
- ・「女、ふたり」あさのあつこ/作
- ・「オニババと三人の盗賊」重松清/作
- ・「白猫おみつ」斎藤隆介/作
- ・「返信」高田郁/作
- ・「雛の花」浅田次郎/作
- ・「かんこま」田辺聖子/作

入場
無料

第20回 みのかも「声のドラマ」の会 朗読フェスティバル

日にち/平成28年12月10日(土)・11日(日)
会場/みのかも文化の森 緑のホール
共催/みのかも「声のドラマ」の会・美濃加茂市

12/10(土),11(日)
16:00~

講師の公演

- 出 演 戸村美智子・岡 摂子
(いずれも放送表現教育センター講師)
- 会 場 緑のホール
- 入場料 1,000円(自由席)

※チケットは10月7日(金)より、文化の森 総合案内にて販売いたします。電話予約可。(0574-28-1110)

登場人物と語り手の体温が感じられるような朗読を目指し、言葉を大事に声に乗せて物語を紡いでいきます。

(7クラスS・K)

「かんこま」勘定が細かい男の話。最後のオチに向けて、8人心を一つにして頑張ります!

(11クラスK・G)

受講生の声



事前申し込みについて | はがき(住所、氏名、電話番号、希望講座を記入)、ご来館、文化の森ホームページ講座申込専用フォームのいずれかの方法でお申し込みください。 ■電話、FAXによる受付は行いません。 ■応募者多数の場合は抽選となります。

イベント minokamo city museum

●日時	●名称	●会場	●参加料	●定員	●内容
～2017.3/12(日)	ていねいな暮らしと 道具展	民具展示館	無料	—	市民のみなさんから寄贈された道具を展示し、昔の道具から人々の知恵や生活の苦勞などを知ります。学校の学習活動とも連携し、体験しながら学びます。
9/17(土) 14:00～15:00	第165回 森の朗読会	緑のホール	無料	120名	作品:「海の星」 湊かなえ/作
10/15(土) 14:00～15:00	第166回 森の朗読会	緑のホール	無料	120名	作品:「おこぜ」 内海隆一郎/作 「砂に埋もれたル・コルビュジエ」 原田マノ/作 『本をめぐる物語 一冊の扉』より
10/29(土) ①10:00～ ②13:00～	坪内逍遙大賞受賞記念 渡辺美佐子さん 出演作品映画会 「果しなき欲望」	緑のホール	無料	各120名	第16回坪内逍遙大賞が女優の渡辺美佐子さんに決まりました。これを記念して、渡辺美佐子さんが出演された映画を上映します。【先着順】 内容:「果しなき欲望」(1958年 日活)
11/16(水) 11/27(日) (最終日のみ15:30まで)	第61回 美濃加茂市美術展	企画展示室 美術工芸展示室ほか	無料	—	市民公募による展覧会です。日本画、洋画、彫刻・彫塑・工芸、書、写真の5部門にわたり、入選入賞作品を展示します。
12/2(金) 12/4(日)	美濃加茂市子ども展	企画展示室 美術工芸展示室 展示ホール	無料	—	市内小中学校の児童・生徒の作品展です。俳句、書写(硬筆・毛筆)、絵画、工作彫塑、技術・家庭科の作品を展示します。 お問合せ:教育センター(TEL0574-28-3255)
12/3(土) 13:30～15:30	わくわくドキドキ 科学の広場	エントランスホール	無料	—	科学等の楽しさを体験します。 お問合せ:教育センター(TEL0574-28-3255)
12/17(土) 14:00～15:00	第167回 森の朗読会	緑のホール	無料	120名	作品:「ねこが見た話」 たかどの ほうこ/作

ていねいな暮らし講座 minokamo city museum

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
11/13(日) 9:30～12:00	秋を染める	秋の草木で絹布を染めます。親子歓迎。 持ち物:エプロン	当日受付 (30分前より)	生活体験館	1,000円程度	20名
12/17(土) 2017.1/4(水)	年中行事 門松立て	かつてこのあたりでみられた簡素な門松を立てます。 【自由観覧】	—		—	—
2017.1/28(土) 13:30～15:00	手縫い	夜なべ仕事だった縫いものを作ります。親子歓迎。 持ち物:はぎれ(あれば)	当日受付 (30分前より)		100円	20名

身近な暮らし講座 minokamo city museum

●名称・内容	●日時	●申し込み方法	●会場	●受講料など	●定員
方言を楽しむ この地域でも特有の方言がありますが、今では使われなくなったものが多いです。方言は、誰もが温かみや親しみを感じるなつかしい「ふるさとの言葉」で、後世に伝承する大切なものです。本講座はそれらを掘り起し、楽しく話し合いながら記録するというものです。なお、講座終了後、刊行物の作成を計画しています。	10月21日、11月4日、18日 12月2日、16日各金曜日 13:00～14:30	事前申し込み (9/24(土)～10/9(日))	情報学習室 ほか	5回分 500円	20名

アートな一日講座 minokamo city museum

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
9/25(日) 13:00～16:00	陶芸	手びねりの技法またはろくろで簡単な器を作ります。出来上がった作品は、後日お渡しします(送付の場合有料)。 持ち物:エプロン、タオル	当日受付 (30分前より)	陶芸室	1,000円	20名
10/5(水) 10:00～12:00	子育て女性応援企画 陶芸で器を作ろう	子育て中の女性応援企画。6ヶ月～未就学児の託児付の講座です。手びねりの技法またはろくろで簡単な器を作ります。出来上がった作品は、後日お渡しします(送付の場合有料)。	事前申し込み (9/2(金)～9/19(月)) 申込みの際は、お子様のお名前と年齢を必ずお書き添え下さい	陶芸室	1,000円 + 託児は1人につき500円。 1家族2人まで	20名
11/13(日) 13:00～16:00	フェルトでアニマル	ふわふわあったかいフェルトで動物の頭の部分を作ります。	当日受付 (30分前より)	工芸室	500円	20名
12/4(日) 13:00～16:00	高島純さんと クリスマスの 絵本をつくろう	絵本作家の高島純さんのイラストを使いながら、自分の創作絵本を作りましょう。 持ち物:のり、はさみ	当日受付 (30分前より)	エントランス ホール	500円	20名
2017.1/29(日) 13:00～16:00	レーザーで作る カードケース	大人のためのアートな1日講座。レーザークラフトに挑戦しましょう。	事前申し込み (12/9(金)～12/25(日))	工芸室	3,000円	20名

四季を食べる講座 minokamo city museum

ボランティア「伝承料理の会」と一緒にこの地域に伝わる料理を作ります。料理にまつわる楽しいお話も聞けます。エプロン、三角巾をお持ちください。

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
9/18(日) 10:00～13:00	栗料理	秋です。栗が好きな人、集ってください。	当日受付 (30分前より)	生活体験館	500円	20名
10/4(火) 10:00～13:00	だしが決め手 なんです	和食の基本はだし。だしが違うとほんとうに違う!	事前申し込み (9/6(火)～9/21(水)) 6ヶ月～3才の未就学児の子をもつ親を対象		500円 + 託児は1人につき500円。 1家族2人まで	
11/20(日) 10:00～13:00	手作りこんにやく	できたてのこんにやくを、一度味わったら・・・市販のこんにやくは食べられなくなるかもしれません。	当日受付 (30分前より)		300円	
12/6(火) 10:00～13:30	おせち料理	今年こそは自分で作ってみようと思っっているあなたのための講座です。	事前申し込み (11/1(火)～11/15(火))		500円	
2017.1/15(日) 10:00～13:00	伝承料理の会が 給食を作ったら・・・	年々、進化している子どもたちの給食を、伝承料理の会が作ったら、こうなります。	事前申し込み (12/11(日)～12/25(日))		300円	

特別講座 minokamo city museum

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
11/26(土) 10:00～14:00	鯉つかめ	昔、加茂野の稲辺池では、鯉を養殖し、年に一度、売ったり、その場で食べたりと大変賑わった行事がありました。 持ち物:エプロン、三角巾	事前申し込み (10/22(土)～11/5(土))	生活体験館	500円	20名